

芦屋町観光施設事業経営戦略

団 体 名 : 芦屋町

事 業 名 : 観光施設事業(休養宿泊施設)

策 定 日 : 令和 2 年 12 月

計 画 期 間 : 令和 2 年度 ~ 令和 11 年度

※複数の施設を有する事業にあつては、施設ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 用 の 区 分	非適用	事 業 開 始 年 度	昭和39年
事 業 の 種 類	観光施設事業 (休養宿泊施設)	施 設 名	国民宿舎マリンテラスあしや
職 員 数	- 人		
事 業 の 内 容	休養宿泊運営事業		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託		
	イ 指定管理者制度	指定管理制度(利用料金制度)	
	ウ PPP・PFI		

(2) 料金形態

料金の概要・考え方	・宿泊料(1泊2食付) 6,460円(税込)～ ・日帰り入浴料 大人(中学生以上) 610円、小学生 300円、幼児 無料 11枚綴り回数券 6,000円 ・その他、各施設利用料金		
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)			

(3) 現在の経営状況

年間利用状況 ※単位を明記すること ※過去3年度分を記載	H29	57,916	H30	56,657	R1	55,115
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	H29	100%	H30	100%	R1	102%
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	H29	92%	H30	72%	R1	76%
【上記の収益、資産等の状況等を踏まえた現在の経営状況の分析】 本施設は、指定管理者制度を採用しているため、指定管理者納入金が主な収入となるが、施設管理にかかる経費に対する不足額及び地方債償還金は、一般会計からの繰入金を充てることとなる。繰入金をできるだけ抑えるため、施設利用者の増加を図るためのサービス向上等の施策を指定管理者とともに検討する必要がある。						

2. 将来の事業環境

(1) 宿泊客数(観光客数)の見通し

平成29年の北九州市のスペースワールド閉園の影響により、修学旅行の利用が減少し、収益が落ち込んでいる。当施設近隣には、遊園地などの遊戯施設がないため、今後も修学旅行の利用は落ち込むことが予想される。しかし、団塊の世代の大量退職により、平日に時間のある高齢者が増えており、ターゲットを変えることで利用者が増える可能性もある。

(2) 料金収入の見通し

当施設については、指定管理者からの納入金が収入となっているため、特筆すべき事項はない。

(3) 施設の見通し

平成11年にリニューアルオープンしてから20年経過し、施設の老朽化に伴う修繕費の増加が見込まれる。平成29年に約3ヶ月休館し、大規模改修を実施したが、その後も漏水などが発生し、その都度修繕を行っているのが現状である。

令和元年度に長寿命化計画(別紙参照)を策定したことで、今後は効率よく施設の改修等を実施していくこととなるが、改修等費用の捻出を施設の売上で賄うことが難しいことから、今後も一般会計の繰入が必要であると思われる。

(4) 組織の見通し

指定管理者制度を採用しているため、特筆すべき事項はない。

3. 経営の基本方針

国民に健全な保健休養のための場を与え、もって国民生活の福祉の向上と健康の増進に寄与し、芦屋町の活性化と観光の振興を図ることを目的として設置された理念に基づき、管理運営に努める。

4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり
(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目	標
	施設のリニューアルオープンから20年が経過し、建物及び付帯施設の修繕が恒常的に必要となっている。これまで、施設の休館を伴う大規模改修等を行ってきたが、改修を行っていない箇所の老朽化が進んでいるため、その都度修繕が必要である。 令和元年度に策定した長寿命化計画に基づき、計画的な設備投資を行う。

② 収支計画のうち財源についての説明

目	標
	指定管理者制度を採用しているため、指定管理者納入金が主な収入となるが、施設にかかる経費に対する不足額は、一般会計からの繰入金で充てることとなる。繰入をできるだけ抑えるため、サービス向上における利用者の増加のための施策を指定管理者とともに検討していく。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

指定管理者制度の継続により、民間のノウハウを活用して、収益の確保と支出の抑制に努め、経常利益の向上に努める。	
--------------------------------------------------------	--

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	現行のまま指定管理制度を継続していく。
投資の適正化	令和元年度に策定した長寿命化計画を基に、計画的な投資を行う。
その他の取組	なし

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	社会経済情勢の変化に合わせ、指定管理者と協議の上、料金単価を見直す検討を行う。
稼働率・利用者数	施設の修繕等を行い、安全安心して利用できる宿泊施設を目指し、利用促進を行う。常に満室状態を達成できるよう、指定管理者と協議を継続していく。
企業債	借入れ予定はない
繰入金	安易に繰入に頼ることなく、長寿命化計画に基づき、計画的な繰入を実施していく。
資産の有効活用等による収入増加の取組	なし
その他の取組	なし

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	指定管理者制度を採用しているため、特筆すべき事項はない。
管理運営費	なし
職員給与費	なし
その他の取組	なし

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	芦屋町における数少ない宿泊施設のひとつであり、修学旅行など団体でも利用できる唯一の施設である。したがって、非常に必要性の高いサービスと言える。
公営企業として実施する必要性	町内外利用者の休養の提供を図り、地域コミュニケーションの活性化を図るうえで重要な事業となっている。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	本経営戦略は10年間の計画とするが、投資・財政計画については毎年見直しを行う。また、社会情勢の変化を的確に把握し、必要に応じて検証していく。
---------------------	------------------------------------------------------------------------

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

区 分		年 度	前々年度 (決算)	前年度 (決算 見込)	本年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
収 益	収益的収入	1 総 収 益 (A)	39,351	26,825	27,322	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	
		(1) 営 業 収 益 (B)													
		ア 料 金 収 入													
		イ 受 託 工 事 収 益 (C)													
		ウ そ の 他													
		(2) 営 業 外 収 益	39,351	26,825	27,322	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	
	収益的支出	2 総 費 用 (D)	ア 他 会 計 繰 入 金												
			イ そ の 他	39,351	26,825	27,321	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	
			(1) 営 業 費 用	45,616	25,299	22,209	72,462	37,462	23,462	44,562	7,462	7,462	7,462	50,662	7,462
			ア 職 員 給 与 費												
			ウ ち 退 職 手 当												
			イ そ の 他	42,620	23,899	22,209	72,462	37,462	23,462	44,562	7,462	7,462	7,462	50,662	7,462
		(2) 営 業 外 費 用	2,996	1,400											
		ア 支 払 利 息	2,996	1,196											
ウ ち 一 時 借 入 金 利 息	2,996	1,196													
ウ ち 資 本 費 平 準 化 債 分															
イ そ の 他		204													
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)		△ 6,265	1,526	5,113	△ 71,302	△ 36,302	△ 22,302	△ 43,402	△ 6,302	△ 6,302	△ 6,302	△ 49,502	△ 6,302		
資 本	資本的収入	1 資 本 的 収 入 (F)	98,955	80,064	1	71,302	36,302	22,302	43,402	6,302	6,302	6,302	49,502	6,302	
		(1) 地 方 債													
		ウ ち 資 本 費 平 準 化 債													
		(2) 他 会 計 補 助 金	98,955	80,064	1	71,302	36,302	22,302	43,402	6,302	6,302	6,302	49,502	6,302	
		(3) 他 会 計 借 入 金													
		(4) 固 定 資 産 売 却 代 金													
		(5) 国 (都 道 府 県) 補 助 金													
	(6) 工 事 負 担 金														
	(7) そ の 他														
	資本的支出	2 資 本 的 支 出 (G)	(1) 建 設 改 良 費	92,656	79,625	5,114									
			ウ ち 職 員 給 与 費												
			(2) 地 方 債 償 還 金 (H)	92,656	79,625										
			ウ ち 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金												
			(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金												
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金				5,114											
(5) そ の 他															
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)		6,299	439	△ 5,113	71,302	36,302	22,302	43,402	6,302	6,302	6,302	49,502	6,302		

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

年 度	前々年度 (決算)	前年度 (決算 見込)	本年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収支再差引 (E)+(I) (J)	34	1,965										
積立金 (K)												
前年度からの繰越金 (L)	267	301										
前年度繰上充用金 (M)												
形式収支 (J)-(K)+(L)-(M) (N)	301	2,266										
翌年度へ繰り越すべき財源 (O)												
実質収支黒字 (P)	301	2,266										
(N)-(O) 赤字 (Q)												
赤字比率 ($\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$)												
収益的収支比率 ($\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$)	28%	26%	123%	2%	3%	5%	3%	16%	16%	16%	2%	16%
地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金不足額 (R)												
営業収益－受託工事収益 (B)-(C) (S)												
地方財政法による資金不足の比率 ((R)/(S)×100)												
健全化法施行令第16条により算定した資金不足額 (T)												
健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額 (U)												
健全化法施行令第17条により算定した事業の規模 (V)												
健全化法第22条により算定した資金不足比率 ((T)/(V)×100)												
他会計借入金残高 (W)												
地方債残高 (X)	79,625											

○他会計繰入金

(単位:千円)

年 度	前々年度 (決算)	前年度 (決算 見込)	本年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収益的収支分												
うち基準内繰入金												
うち基準外繰入金												
資本的収支分	98,955	80,064	1	71,302	36,302	22,302	43,402	6,302	6,302	6,302	49,502	6,302
うち基準内繰入金												
うち基準外繰入金	98,955	80,064	1	71,302	36,302	22,302	43,402	6,302	6,302	6,302	49,502	6,302
合 計	98,955	80,064	1	71,302	36,302	22,302	43,402	6,302	6,302	6,302	49,502	6,302